

(様式第 10)

熊大病医事第 207号
平成26年10月 2日

九州厚生局長 殿

開設者名 熊本大学医学部附属病院長
(管理者) 谷原 秀信 (印)

熊本大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成25年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
氏 名	国立大学法人熊本大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

熊本大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号	電話(096) 342 - 2111
------------------------------	--------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1血液内科 2リウマチ科 3腎臓内科 4代謝内科 5呼吸器内科 6消化器内科	
7神経内科 8循環器内科 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	・	無				
外科と組み合わせた診療科名							
1消化器外科	2乳腺外科	3呼吸器外科	4心臓血管外科	5小児外科	6		
7	8	9	10	11	12	13	14
診療実績							

- (注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
- (注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	
⑦産婦人科	8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科	⑬放
射線診断科	⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科			

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	・	無			
歯科と組み合わせた診療科名						
1歯科口腔外科	2	3	4	5	6	7
歯科の診療体制						

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。
- (注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1移植外科	2形成外科	3病理診断科	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21		

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
50床	床	床	床	795床	845床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	399人	255人	558.8人	看護補助者	33人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	16人	23人	32人	理学療法士	16人	臨床検査技師	67人
薬剤師	65人	1人	65.5人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	32人	2人	33.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	791人	46人	821.5人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	1人	その他の技術員	51人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯 科 技 工 士	1人	事務職員	225人
管理栄養士	7人	0人	7人	診療放射線技師	45人	その他の職員	9人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年9月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	26人	眼科専門医	12人
外科専門医	48人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	10人	放射線科専門医	21人
小児科専門医	22人	脳神経外科専門医	17人
皮膚科専門医	9人	整形外科専門医	20人
泌尿器科専門医	11人	麻酔科専門医	16人
産婦人科専門医	23人	救急科専門医	4人
		合 計	252人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	668.93人	20.82人	689.75人
1日当たり平均外来患者数	1,294.39人	80.36人	1,374.75人
1日当たり平均調剤数			724.18剤
必要医師数			148.34人
必要歯科医師数			6.62人
必要薬剤師数			23人
必要(准)看護師数			393人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

た数を記入すること。

- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	883m ²	SR	病床数	27床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	144.42m ²		病床数	16床
	[移動式の場合]	台数	15台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	53m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	591m ²	SR	(主な設備) 汎用自動分析装置、電解質測定装置、HbA1c分析装置			
細菌検査室	137m ²	SR	(主な設備) 自動塗布装置、薬剤感受性装置、自動染色装置			
病理検査室	397m ²	SR	(主な設備) 自動固定包埋装置、自動染色装置、凍結切片作成装置			
病理解剖室	187m ²	SR	(主な設備) 病理解剖台、臓器写真撮影装置、オートクレーブ			
研究室	479m ²	SR	(主な設備) クリオスタット、遠心機、オートクレーブ			
講義室	1,126m ²	SR	室数	5室	収容定員	828人
図書室	2,543m ²	SR	室数	3室	蔵書数	185,600冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年 4月 1日～平成26年 3月 31日	
紹介率	86.0%	逆紹介率	49.1%
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,741人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,835人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,712人	
	D: 初診の患者の数	17,979人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	104人	・膿疱性乾癬	9人
・多発性硬化症	121人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	200人	・原発性胆汁性肝硬変	99人
・全身性エリテマトーデス	434人	・重症急性膵炎	10人
・スモン	10人	・特発性大腿骨頭壊死症	11人
・再生不良性貧血	69人	・混合性結合組織病	71人
・サルコイドーシス	141人	・原発性免疫不全症候群	12人
・筋萎縮性側索硬化症	42人	・特発性間質性肺炎	23人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	558人	・網膜色素変性症	25人
・特発性血小板減少性紫斑病	76人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	75人	・肺動脈性肺高血圧症	22人
・潰瘍性大腸炎	91人	・神経線維腫症	59人
・大動脈炎症候群	28人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	42人	・慢性血栓性肺高血圧症	6人
・脊髄小脳変性症	94人	・ライソゾーム病	13人
・クローン病	57人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	26人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋萎縮症	11人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	254人	・球脊髄性筋萎縮症	10人
・アミロイドーシス	114人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	62人
・後縦靭帯骨化症	33人	・肥大型心筋症	91人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	88人	・ミトコンドリア病	20人
・ウェゲナー肉芽腫症	22人	・リンパ管筋腫症(LAM)	6人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	52人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	32人	・黄色靭帯骨化症	5人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	376人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料1. 一般病棟 イ (7対1看護)	・救急搬送患者地域連携受入加算
・特定機能病院入院基本料3. 精神病棟 ニ (15対1看護)	・データ提出加算2
・臨床研修病院入院診療加算	・特定集中治療室管理料3
・救急医療管理加算	・特定集中治療室管理料4
・超急性期脳卒中加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・妊産婦緊急搬送入院加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・診療録管理体制加算2	・総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児集中治療室、新生児集中治療室)
・急性期看護補助体制加算3(50対1)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護補助加算1(30対1)(精神病棟)	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2に係る加算(プレイルーム加算)
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・新生児特定集中治療室退院調整加算1及び 2	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・検体検査管理加算(IV)
・心臓ペースメーカー指導管理料 (植込型除細動器移行加算)	・遺伝カウンセリング加算
・高度難聴指導管理料(イ)(ロ)	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・植込型心電図検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験
・がん患者指導管理料1	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料2	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料3	・人工臓腑
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料1(臓器移植後患者指導管理料)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・外来リハビリテーション診療料	・補聴器適合検査
・外来放射線照射診療料	・ロービジョン検査判断料
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算1
・認知症専門診断管理料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・遠隔画像診断
・薬剤管理指導料	・ポジロン断層撮影又はポジロン断層・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・大腸CT撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算(I)	・無菌製剤処理料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・心大血管疾患リハビリテーション料の初期加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1 乳がんセンチネルリンパ節加算2
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・脳血管疾患等リハビリテーション料の初期加算	・経皮的冠動脈形成術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・運動器リハビリテーション料の初期加算	・経皮的冠動脈ステント留置術
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・呼吸器リハビリテーション料の初期加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・がん患者リハビリテーション料	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・集団コミュニケーション療法料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・認知療法・認知行動療法1	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・認知療法・認知行動療法2	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・精神科作業療法	・経皮的大動脈遮断術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・ダメージコントロール手術
・医療保護入院等診療料	・腹腔鏡下肝切除術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・生体部分肝移植術
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・同種死体肝移植術
・一酸化窒素吸入療法	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算(皮膚悪性腫瘍切除術)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る。)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。) (自家培養軟骨移植術に限る。)	・同種死体腎移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び 脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激 装置交換術	・生体腎移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術 (眼内内視鏡を用いるもの)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・網膜再建術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・入院時食事療養費(1)
・輸血管管理料Ⅱ	・
・貯血式自己血輸管理体制加算	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・内視鏡手術用支援機器加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(Ⅰ)	・
・麻酔管理料(Ⅱ)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・直線加速器による放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・保険医療機関間の連携による病理診断	・
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	・
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診	・
・病理診断管理加算2	・
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・
・歯科診療特別対応連携加算	・
・歯科治療総合医療管理料	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・経皮的冠動脈形成術	・
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・
・超音波骨折治療法	・
・遺伝学的検査(隆起性皮膚線維肉腫)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	12回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 19例 / 剖検率 9.3%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

NO	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	Apop遺伝子を標的とした抗加齢療法の創出	安田 修	医学部附属病院	1,984,138	補助 独立行政法人日本学術振興会
2	細胞周期調節因子cdh1の消化器癌発生・進展における役割の解明	直江 秀昭	医学部附属病院	900,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
3	小児期発症メタボリック症候群における内胚葉系細胞のカルシウムシグナルの役割	中村 公俊	医学部附属病院	1,100,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
4	レビ-小体型認知症の臨床経過の縦断的調査研究	橋本 衛	医学部附属病院	948,603	補助 独立行政法人日本学術振興会
5	高磁場装置を用いた高解像MRI画像によるグリオーマの放射線治療支援画像の開発	北島 美香	医学部附属病院	397,202	補助 独立行政法人日本学術振興会
6	尿分沁性トリプシンインヒビター抗体を用いた膵癌に対する分子標的治療の開発	堀野 敬	医学部附属病院	700,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
7	食道癌におけるmicroRNAを介した偽遺伝子による遺伝子制御機構の解明の解明	長井 洋平	医学部附属病院	1,100,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
8	食道扁平上皮癌におけるAKT及びERK pathway関連遺伝子変異の網羅的解析	宮成 信友	医学部附属病院	1,150,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
9	TRC法を用いた血中遊離大腸癌細胞の検出とその抗癌剤感受性マーカーとしての意義	辛島 龍一	医学部附属病院	530,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
10	大腸癌におけるp53およびオートファジー機能解明と治療への応用	宮本 裕士	医学部附属病院	1,100,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
11	発癌におけるマイクロRNAによるエピジェネティクス制御機構の解明	高森 啓史	医学部附属病院	1,550,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
12	一酸化窒素(NO)によるRTKリン酸化制御機構の分子生物学的解析と癌治療への応用	杉田 裕樹	医学部附属病院	900,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
13	直接血管吻合によらない脳血流改善治療法の開発	大森 雄樹	医学部附属病院	1,064,713	補助 独立行政法人日本学術振興会
14	血清・喀痰中のExosomal miRNAを用いたARDSの新規診断・治療戦略	鷺島 克之	医学部附属病院	2,456,500	補助 独立行政法人日本学術振興会
15	マイクロRNA解析による口腔癌の薬剤耐性化機構の解明と新規診断治療法への応用	中山 秀樹	医学部附属病院	1,110,300	補助 独立行政法人日本学術振興会
16	こどもの疲労にかかわる物理・心理・社会的環境の解明と予防	上土井 貴子	医学部附属病院	2,843,356	補助 独立行政法人日本学術振興会
17	新規慢性炎症制御因子CYLD機能低下の肺線維化における意味論の展開	城野 博史	医学部附属病院	1,119,390	補助 独立行政法人日本学術振興会
18	NIRSを用いた認知症の早期鑑別・診断	平田 真一	医学部附属病院	242,699	補助 独立行政法人日本学術振興会
19	肝内胆管癌における癌関連線維芽細胞(CAF)の分離・機能解析と治療標的の探索	岡部 弘尚	医学部附属病院	1,000,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
20	線維柱帯の圧感受性を規定する細胞骨格および細胞接着の変化に関わる因子の網羅的研究	井上 俊洋	医学部附属病院	700,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
21	ニューロパシーを突破口とした加齢変化の早期診断指標探索とアンチエイジングへの応用	大林 光念	医学部附属病院	2,584,310	補助 独立行政法人日本学術振興会
22	肝再生促進メカニズムに関与する細胞周期関連分子の基礎的検討およびその臨床応用	永濱 裕康	医学部附属病院	1,200,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
23	持続性心房細動の機序の解析及び至適治療法についての検討	山部 浩茂	医学部附属病院	1,465,379	補助 独立行政法人日本学術振興会
24	急性冠症候群におけるCYP2C19機能喪失遺伝子の迅速検出と至適薬物治療法の確立	海北 幸一	医学部附属病院	2,772,400	補助 独立行政法人日本学術振興会
25	セリンプロテアーゼを介した食塩感受性高血圧発症に関する分子機序の解明	安達 政隆	医学部附属病院	1,200,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
26	乳癌におけるMACC1の解析、特にERalphaとの関連についての解析	山本 豊	医学部附属病院	1,400,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
27	食道癌におけるmTORを標的としたmiRNAreplacementtherapy	木下 浩一	医学部附属病院	1,450,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
28	胃癌におけるLINE-1メチル化レベルの網羅的解析	岩上 志朗	医学部附属病院	1,400,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
29	食道扁平上皮癌薬剤耐性を規定するmicroRNA-gene pathwayの解明	齋藤 誠哉	医学部附属病院	1,450,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
30	大腸癌に対する新しいエピジェネティックセラピーの開発	坂本 快郎	医学部附属病院	1,200,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
31	肝細胞癌における血中癌幹細胞の同定と標的治療の開発	別府 透	医学部附属病院	1,400,363	補助 独立行政法人日本学術振興会
32	胆管癌におけるポリオーム蛋白の発現意義とエピジェネティック治療への応用	近本 亮	医学部附属病院	1,400,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
33	膵臓癌における肝転移を規定するLong non-coding RNAの機能解析	中原 修	医学部附属病院	1,400,125	補助 独立行政法人日本学術振興会
34	多発肺腺癌の発生に関わる遺伝的背景の基礎的研究	池田 公英	医学部附属病院	400,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
35	最重症くも膜下出血に対する多角的治療戦略	甲斐 豊	医学部附属病院	1,000,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
36	ストレス惹起インスリン抵抗性に伴う血管内皮障害への酸化水素による治療戦略	杉田 道子	医学部附属病院	2,100,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
37	上皮性卵巣癌における局所的エストロゲン活性調節機構の解明	本原 研一	医学部附属病院	1,300,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
38	遺伝子と内分泌の異常から分類する子宮内腺癌の新規カテゴリーと治療法の確立	田代 浩徳	医学部附属病院	1,400,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
39	頭頸部扁平上皮癌における細胞接着阻害分子ポドカリキシンの発現、および機能の解析	村上 大造	医学部附属病院	2,273,836	補助 独立行政法人日本学術振興会
40	高解像度内圧計を用いた正常および喉頭麻痺患者の嚥下動態に関する基礎的臨床的研究	鮫島 靖浩	医学部附属病院	1,049,051	補助 独立行政法人日本学術振興会
41	子どもの疲労の神経基盤解明による治療法の開発-慢性疲労とPC・携帯電話依存の関連	川谷 淳子	医学部附属病院	2,206,806	補助 独立行政法人日本学術振興会
42	冠動脈硬化の基盤となる冠縮性狭心症患者の冠動脈プラーク組織性状評価	辻田 賢一	医学部附属病院	2,641,331	補助 独立行政法人日本学術振興会
43	食塩感受性高血圧の病態解析と合併する心拡張不全に関する臨床研究	山本 英一郎	医学部附属病院	1,312,998	補助 独立行政法人日本学術振興会
44	レンチウイルスベクターを用いた筋ジストロフィー遺伝子治療	菅 智宏	医学部附属病院	700,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
45	マクロファージ特異的AMPK活性調節を介した動脈硬化発症抑制の試みと分子機序解明	石井 規夫	医学部附属病院	2,722,165	補助 独立行政法人日本学術振興会
46	低血糖による網膜症増悪の機序解明:ミトコンドリアROSと虚血・低酸素の寄与解析	久木留 大介	医学部附属病院	2,448,603	補助 独立行政法人日本学術振興会
47	治療抵抗性乳癌における新規慢性炎症促進因子の機能解析	中野 正啓	医学部附属病院	1,500,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
48	消化器癌におけるCDH3プロモーター領域の脱メチル化の意義	今井 克憲	医学部附属病院	1,100,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
49	膵癌、胆道癌に高発現するFOXO1を標的とした分子標的治療の開発	生田 義明	医学部附属病院	1,600,000	補助 独立行政法人日本学術振興会
50	ポリアルギニンを用いたタンパク質導入法による内耳性難聴の治療	高村 博	医学部附属病院	1,400,000	補助 独立行政法人日本学術振興会

51	癌抑制遺伝子CYLDの機能解析による口腔癌の分子基盤の展開と個別化治療への発展	神力 悟	医学部附属病院	1,755,977	補助	独立行政法人日本学術振興会
52	円滑な診療諸記録入力に関連文書の作成支援機能を実現するシステムの開発	宇宿 功市郎	医学部附属病院	1,900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
53	脂肪組織におけるTNF受容体切断酵素の同定とインスリン抵抗性改善への応用	本島 寛之	医学部附属病院	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
54	αPLA2発現抑制による動脈硬化進展抑制効果と新規動脈硬化症治療法開発の試み	松村 剛	医学部附属病院	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
55	新生児産血脳に対するbFGFおよびEGFによる神経再生治療	岩井 正憲	医学部附属病院	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
56	出血傾向を有した産科危機的出血に対する永久塞栓物質を用いた子宮動脈塞栓術の検討	池田 理	医学部附属病院	1,700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
57	2光子励起レーザー顕微鏡を用いた新たな肝移植後拒絶反応の時空間的メカニズム解析	武市 卒之	医学部附属病院	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
58	消化器癌におけるlincRNAの網羅的発現解析ならびに機能解析	日吉 幸晴	医学部附属病院	1,425,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
59	内分泌療法耐性乳癌におけるESR1遺伝子制御の解析とエストロゲン作用薬の治療応用	富田 さおり	医学部附属病院	900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
60	microRNA-genepathwayを介した胃癌トラスツマブ耐性機序の解明	岩槻 政晃	医学部附属病院	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
61	正常胃粘膜上皮および胃癌におけるSPINK1の機能解析	尾崎 宜之	医学部附属病院	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
62	消化器癌の発育進展に関与する脂質代謝メカニズムの解明と新規治療法の開発	石川 晋之	医学部附属病院	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
63	肝細胞癌進展におけるTGFβ-Hippoシグナルのクロストークに関する研究	戴元 一崇	医学部附属病院	1,400,055	補助	独立行政法人日本学術振興会
64	癌細胞におけるC5aRの発現と機能解析と新しい治療法の開発	新田 英利	医学部附属病院	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
65	悪性脳腫瘍におけるハイパーメタボリズムを標的とした新たな診断、治療戦略の考案	牧野 敬史	医学部附属病院	2,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
66	限局性皮質形成異常を標識する術中分子イメージング法の開発	浜崎 禎	医学部附属病院	800,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
67	電気刺激により悪性グリオーマの増殖を制御する	山田 和慶	医学部附属病院	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
68	グリオーマ幹細胞を標的とした間葉系幹細胞による新規治療法の開発	篠島 直樹	医学部附属病院	1,700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
69	膜透過性ペプチドを用いた悪性神経膠腫腫瘍幹細胞に対する治療の実現化の研究	中村 英夫	医学部附属病院	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
70	機械的ストレスの軟骨変性誘導における小胞体ストレスの発生と病態生理に関する研究	廣瀬 隼	医学部附属病院	1,900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
71	Smad3抑制による痕癆声帯の治療法開発	増田 聖子	医学部附属病院	2,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
72	家族性眼アミロイドーシスの早期発見と手術合併症の克服に関する研究	川路 隆博	医学部附属病院	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
73	糖尿病眼合併症におけるANGPTL2の機能に関する研究	伊藤 康裕	医学部附属病院	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
74	心停止後症候群の新たな予予測バイオマーカーの確立	笠岡 健志	医学部附属病院	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
75	癌幹細胞に着目した口腔癌の新たな治療戦略-SALL4の治療への応用	太田 和俊	医学部附属病院	1,900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
76	新規口腔癌ペプチドワクチン療法の開発と臨床効果判定バイオマーカーの同定	吉武 義泰	医学部附属病院	2,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
77	尿毒症物質産生阻害薬探索のためのヒト人工多能性幹(iPS)細胞由来肝細胞の構築	齋藤 秀之	医学部附属病院	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
78	NAAG分解酵素阻害薬の臨床応用に向けての基礎研究	山田 寿彦	医学部附属病院	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
79	DPP-4阻害剤による動脈硬化道縮と内皮機能改善の臨床評価とそのメカニズムの検討	松原 純一	医学部附属病院	1,900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
80	小胞体ストレスは運動ニューロン変性において本質的であるか？	森 龍	医学部附属病院	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
81	尋常性乾癬におけるmicroRNAの発現および情報伝達経路解析	市原 麻子	医学部附属病院	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
82	新規毛周期調節因子Tsukushiによる毛髪再生メカニズムの解明	新森 大佑	医学部附属病院	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
83	意味性認知症における異食と視覚性の意味記憶障害	松下 正輝	医学部附属病院	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
84	認知症患者におけるhypersexualityのメカニズムに関する研究	矢田部 祐介	医学部附属病院	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
85	泡沫硬化剤を用いた経皮経肝的門脈塞栓術の臨床的有用性、安全性に関する検討	中曾根 豊	医学部附属病院	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
86	大腸癌進展におけるSPINK1の分子機構の解明と新規分子標的治療への応用	井田 智	医学部附属病院	1,900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
87	FGFR2を標的とした食道胃接合部癌に対する新規治療法の確立	今村 裕	医学部附属病院	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
88	食道扁平上皮癌におけるmTOR発現とヘッジホッグシグナル経路の相互作用の解明	平島 浩太郎	医学部附属病院	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
89	一側喉頭麻痺に対する神経筋移植術後の声域と声帯振動の検討	兒玉 成博	医学部附属病院	700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
90	Sox9コンディショナルノックアウトマウスを用いた胆道閉鎖症の病因・病態解析	須田 博子	医学部附属病院	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
91	FAPの発症を規定する断片化TTRの形成機構の解明および新規病態マーカーの開発	植田 光晴	医学部附属病院	2,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
92	遺伝子改変ヒトiPS細胞由来マクロファージを用いた悪性黒色腫に対する免疫療法	福島 聡	医学部附属病院	1,700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
93	大動脈瘤発生メカニズムの解明による新たな大動脈瘤破裂予測因子の発見	田丸 宏和	医学部附属病院	2,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
94	皮膚がんにおけるアンジオポエチン様因子2の機能およびメカニズムの解析	青井 淳	医学部附属病院	1,700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
95	全身性強皮症の病態におけるmicroRNA let-7aの関与の検討	牧野 雄成	医学部附属病院	1,700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
96	硫酸抱合型尿毒症物質の肝合成阻害を機軸とする腎保護・尿毒症治療薬のシーズ創出	齋藤 秀之	医学部附属病院	2,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
97	医療的ニーズのある在宅重度障害者に対する喀痰吸引等提供事業所の拡大支援のための重層的医療支援モデルの開発	松葉 佐 正	医学部附属病院	5,024,000	補助	厚生労働省
98	日本人の急性心筋梗塞の病態や治療に関するエビデンスの構築	小島 淳	医学部附属病院	500,000	補助	文部科学省
99	通常型肺癌におけるオートファジーの機能解析と新しい肺癌治療法への応用	橋本 大輔	医学部附属病院	1,100,000	補助	文部科学省
100	幹細胞関連分子スクレオステミンの口腔扁平上皮癌における機能解析と新規治療法の開発	吉田 遼司	医学部附属病院	1,100,000	補助	文部科学省
101	口腔扁平上皮癌における薬剤耐性機構の解明と新規治療薬の開発	永田 将士	医学部附属病院	1,100,000	補助	文部科学省
102	口腔癌における転移の早期診断マーカーの同定および解析	田中 拓也	医学部附属病院	1,100,000	補助	文部科学省
103	口腔癌におけるINK4/ARF遺伝子座の高次エピゲノムの解析と新規診断法の開発	廣末 晃之	医学部附属病院	1,100,000	補助	文部科学省
104	膠芽腫幹細胞ニッチで特異的に変化するマイクロRNAを標的とした新規治療法の創出	秀 拓一郎	医学部附属病院	3,000,000	補助	文部科学省
105	脳動脈ドリエクタジアの病態解明—抗血栓療法でのジレンマの解消を目指して	中島 誠	医学部附属病院	1,100,000	補助	文部科学省

106	冠動脈固有の側副血行路形成過程を理解するための基礎研究と種間の相関性の探索	有馬 勇一郎	医学部附属病院	1,100,000	補助	文部科学省
107	ヒトグリオーマ初代培養株を用いた悪性グリオーマに対する局所治療法の開発	竹崎 達也	医学部附属病院	1,100,000	補助	文部科学省
108	酢酸アルミニウム溶液(ブロー液)の内耳毒性に関する研究	菅村 真由美	医学部附属病院	1,100,000	補助	文部科学省
109	硫酸銅合型尿毒症物質の肝合成阻害を機軸とする腎保護・尿毒症治療薬のシーズ創出	齋藤 秀之	医学部附属病院	1,400,000	補助	文部科学省
110	介護施設、一般病院におけるBPSD初期対応の効果検証に関する研究	橋本 衛	医学部附属病院	550,000	委託	独立行政法人国立長寿医療研究センター
111	橋渡し研究加速ネットワークプログラム	城野 博史	医学部附属病院	4,800,000	委託	国立大学法人九州大学
112	尿毒症物質の肝産生阻害を機軸とする高尿酸血症治療薬のシーズ創出	齋藤 秀之	医学部附属病院	2,307,693	委託	独立行政法人科学技術振興機構
113	難治性不整脈に対する研究	山部 浩茂	医学部附属病院	742,284	委託	五ヶ瀬町国民健康保険病院
114	頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する研究	甲斐 豊	医学部附属病院	64,615	委託	財団法人先端医療振興財団
115	あさぎり町ことと体の健康づくりに関するアンケート調査	藤瀬 昇	医学部附属病院	199,920	委託	あさぎり町
116	IT融合による新社会システムの開発・実証プロジェクト(ヘルスケア分野)	宇宿 功市郎	医学部附属病院	1,688,808	委託	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
117	硫酸銅合型尿毒症物質の肝産生阻害を機軸とする腎障害治療薬の効果検証	齋藤 秀之	医学部附属病院	1,000,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
118	高機能分子デンドリマーを活用した新規マルチターゲット型アミロイドーシ	城野 博史	医学部附属病院	1,092,139	委託	独立行政法人科学技術振興機構
119	HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたペパシズマブと	山本 豊	医学部附属病院	69,230	委託	一般社団法人JBCRG
120	PU.1発現低下の骨髄腫発症への関与の解明	奥野 豊	生命科学部	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
121	これ迄の研究の総力を結集させたアミロイドーシの早期診断・病態解析システムの開発	安東 由喜雄	生命科学部	4,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
122	微小環境がもたらす肝癌の治療抵抗性の獲得機構-融合pロオキシを用いた解析-	佐々木 裕	生命科学部	2,700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
123	一側喉頭麻痺の病態に関する基礎的臨床的研究	湯本 英二	生命科学部	4,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
124	グリオーマ幹細胞特異抗体を付加した薬物内包ミセルによる新規治療法の開発	倉津 純一	生命科学部	3,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
125	HIVプロテアーゼ二量体阻害剤(PDI)耐性発現機構の解明と強力なPDIの創成	満屋 裕明	生命科学部	4,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
126	上皮性卵巣癌における癌幹細胞とニッチを標的とした新規治療戦略	片刈 秀隆	生命科学部	2,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
127	房水内生理活性物質が房水動態および濾過手術の成績に及ぼす影響に関する研究	谷原 秀信	生命科学部	4,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
128	分子シャペロンによる細胞内ストレス制御の分子基盤解明とその糖尿病治療への応用	荒木 栄一	生命科学部	3,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
129	口腔癌における術後アジュバントペプチドワクチン療法の臨床応用と治療効果の検討	篠原 正徳	生命科学部	3,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
130	内因性親電子物質を介するレドックスシグナル伝達の制御メカニズム	澤 智裕	生命科学部	3,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
131	骨格筋由来分泌因子を用いた新規心不全治療法の開発とその臨床応用研究	小川 久雄	生命科学部	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
132	食道癌の新規治療法の開発を目指したLINE-1メチル化レベルの網羅的解析	馬場 祥史	生命科学部	3,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
133	家族性アミロイドポリニューロパチーの予防及び治療のための抗体医薬品の開発	安東 由喜雄	生命科学部	500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
134	ホルモン不応性前立腺癌特異的分泌プロテアーゼの精製・同定と癌治療への応用	和田 孝浩	生命科学部	800,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
135	去勢抵抗性前立腺癌におけるDkk-1の機能解析及びその治療への応用	河野 吉昭	生命科学部	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
136	傷害網膜に誘導された組織幹細胞の機能発現とその眼内制御機構に関する研究	福島 美紀子	生命科学部	900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
137	トランスサイレチンY114C型遺伝性脳アミロイド血管症の病態解析	山下 太郎	生命科学部	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
138	骨髄腫細胞のPU.1による細胞増殖抑制のメカニズムの解明及び治療への応用	奥野 豊	生命科学部	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
139	SPECT/CT融合画像による肝切除における局所肝機能評価法の確立	山下 康行	生命科学部	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
140	リポ蛋白受容体を介した視神経保護薬の開発研究	林 秀樹	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
141	プロテアーゼおよび酸化ストレスによるヴィンチラスサイクルメカニズムの解明	白石 直樹	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
142	マイクロRNA解析と髄膜腫幹細胞の機能制御に基づく悪性髄膜腫の新規治療法の開発	矢野 茂敏	生命科学部	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
143	Side population法を用いて抽出した成体幹細胞のマウス耳肉内移植	蓑田 涼生	生命科学部	700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
144	食道扁平上皮癌に対する第3世代PPAR γ agonistの抗腫瘍効果・機序の解明	吉田 直矢	生命科学部	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
145	mtROSとmtDNA修復酵素POLGの糖尿病合併症への関与とその制御による治療	西川 武志	生命科学部	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
146	生体ドナーにおける三次元肝予備能解析の研究	山本 栄和	生命科学部	1,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
147	病因抗原が未知の自己免疫疾患に対する組織抗原特異的免疫抑制療法の開発	平田 真哉	生命科学部	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
148	悪性脳腫瘍に対するDDS製剤を用いた個別化治療に向けての基礎的検討	黒田 順一郎	生命科学部	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
149	胆道閉鎖症の病因・病態におけるSox9遺伝子の関与に関する検討	猪股 裕紀洋	生命科学部	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
150	前頭側頭葉変性症における食行動異常の神経基盤に関する研究	池田 学	生命科学部	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
151	脳動脈瘤の発生・破裂に関する慢性炎症の関与とその薬物療法開発に関する基礎研究	河野 陸幸	生命科学部	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
152	心臓4次元CTを導入した心拍動下冠動脈バイパス術前ナビゲーションシステムの開発	宇都宮 大輔	生命科学部	600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
153	癌におけるCD44を介したROS制御機構の解明と治療への応用	石本 崇胤	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
154	食道癌生検のmicroRNA発現による化学療法感受性予測に基づく個別化治療の確立	渡邊 雅之	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
155	血管内皮細胞障害におけるミトコンドリア機能の役割検討と臨床評価、新治療の探索	杉山 正悟	生命科学部	1,700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
156	p27によるマクロファージ増殖抑制の糖尿病・動脈硬化における生理学的意義の解明	瀬ノ口 隆文	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
157	唾液腺幹細胞を用いた機能障害唾液腺修復モデルの確立と臨床への応用	平木 昭光	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
158	TRAILの好中球排除によるSIRSの制御機構の解明とその臨床応用	蒲原 英伸	生命科学部	800,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
159	小胞体ストレスに着目した筋萎縮性側索硬化症の治療法開発	山下 賢	生命科学部	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
160	位相差強調画像法を用いたアミロイドイメーシングの開発	平井 俊範	生命科学部	1,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
161	人工臓器への応用を見据えた血管内留置型センサによる連続血糖計測システムの開発	下田 誠也	生命科学部	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会

162	神経障害性疼痛発症におけるGPR103-26RfA, QRFP系の役割	棚平 千代子	生命科学部	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
163	CKDの進展に係わるセリンプロテアーゼ群の網羅的網定とその分子機	北村 健一郎	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
164	乳癌内分泌療法の効果予測を目的とした多遺伝子発現の定量的評価	岩瀬 弘敬	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
165	筋幹細胞の休止期を保つためのメカニズムの解明	木村 重美	生命科学部	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
166	加齢黄斑変性症における上皮間葉転換のレドックス制御を標的とした創	猪俣 泰也	生命科学部	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
167	免疫栄養(エイコサペンタエン酸)を用いた口腔癌転移抑制の実験動物	尾木 秀直	生命科学部	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
168	成人急性リンパ性白血病の遺伝子異常による予後予測	麻生 範雄	生命科学部	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
169	非小細胞肺癌の血管新生機序解明に対する新しいアプローチ法とその	鈴木 実	生命科学部	900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
170	軟骨変性の進行における小胞体ストレスの役割に関する分子生物学的	水田 博志	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
171	口腔癌における術後アジュバンドペプチドワクチン療法の臨床応用と治	篠原 正徳	生命科学部	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
172	骨格筋由来分泌因子を用いた新規心不全治療法の開発とその臨床応	小川 久雄	生命科学部	2,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
173	一側喉頭麻痺の病態に関する基礎的臨床的研究	湯本 英二	生命科学部	5,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
174	微小環境がもたらす肝臓の治療抵抗性の獲得機構-融合プロテオミクスを	佐々木 裕	生命科学部	4,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
175	上皮性卵巣癌における癌幹細胞とニッチを標的とした新規治療戦略	片淵 秀隆	生命科学部	3,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
176	食道癌の新規治療法の開発を目指したIGF2 DMROメチル化レベルの	馬場 祥史	生命科学部	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
177	麻痺喉頭の病的共同運動に対する治療法の開発	湯本 英二	生命科学部	900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
178	HIVインテグラーゼの多量体化と細胞因子相互作用の阻害剤の創成	滝屋 裕明	生命科学部	2,900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
179	大腸癌肝転移における抗癌剤感受性関連遺伝子の網羅的ゲノム・エ	馬場 秀夫	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
180	緑内障術後結膜下組織における炎症細胞の4次元イメージング	谷原 秀信	生命科学部	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
181	卵巣癌における癌幹細胞マーカーEpCAMの機能解析:卵巣癌新規治	本原 剛志	生命科学部	1,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
182	臨床に即した喉頭麻痺モデル動物の作成と内喉頭筋の二重神経支配に	青山 猛	生命科学部	500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
183	網膜色素上皮細胞における上皮間葉転換	高橋 枝里	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
184	肝炎・肝癌誘導因子LTβの発現を制御する高次エピゲノム構造の解析	渡邊 文久	生命科学部	1,400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
185	術前ホルモン療法の効果予測を目的とした包括的治療反応性予測ツ	指宿 睦子	生命科学部	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
186	全身性強皮症における免疫抑制療法的作用機序の検討	牧野 貴充	生命科学部	500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
187	TGF-β活性化機構に着目した肝再生の分子機序解明と肝再生促進	林 洋光	生命科学部	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
188	TGF-βおよび炎症性サイトカインシグナルを分子基盤とした尿水流出機	井上 みゆき	生命科学部	1,700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
189	サーチュイン7の心血管病態における創傷治癒制御機構の解明	泉家 康宏	生命科学部	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
190	プロテオミクスと組織化学を駆使したCADASILの原因物質の同定	植田 明彦	生命科学部	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会
191	アミロイドーシスに関する調査研究	安東 由喜雄	生命科学部	38,424,000	補助	厚生労働省
192	新しい新生児代謝スクリーニング時代に適応した先天性代謝異常症の診	遠藤 文夫	生命科学部	18,000,000	補助	厚生労働省
193	アジア人種型2型糖尿病の治療法及び治療薬の開発を可能にするマウ	魏 范研	生命科学部	5,000,000	補助	厚生労働省
194	アジアにおける若年性認知症の地域ケアシステムに関する研究(国際共	池田 学	生命科学部	2,997,895	補助	厚生労働省
195	B型肝炎ウイルス感染症に対する新規の治療薬の研究・開発	滝屋 裕明	生命科学部	32,500,000	補助	厚生労働省
196	B型肝炎ウイルス感染症に対する新規の治療薬の研究・開発	滝屋 裕明	生命科学部	269,231,000	補助	厚生労働省
197	術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	財団法人がん集学的治療研究財団
198	初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
199	IPSt細胞由来の樹状細胞とマクロファージを用いた医療技術の開発	千住 覚	研究部(医)	26,500,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
200	Stage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としての	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	財団法人先端医療振興財団
201	「Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第III相臨床	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	財団法人先端医療振興財団
202	Stage II 大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	財団法人先端医療振興財団
203	脳画像・臨床・ITの融合によるアルツハイマー病超早期診断と先制医療	池田 学	研究部(医)	183,649	委託	バイオテクノロジー開発技術研究組合
204	局所進行直腸癌に対するTS-1/CPT-11併用術前化学放射線療法	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	特定非営利活動法人東京がん化学療法研究会
205	治療切除結腸癌(Stage III)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	財団法人先端医療振興財団
206	進行再発肺腺癌におけるゲフィチニブとエロチニブのランダム化第III	興梠 博次	研究部(医)	0	委託	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
207	化学療法未施行III/IV期・術後再発肺扁平上皮癌に対するネダプラチ	興梠 博次	研究部(医)	0	委託	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
208	トランスサイレチン関連アミロイドーシスの治療成績調査(THAOS)	安東 由喜雄	研究部(医)	740,000	委託	FoldRx Pharmaceuticals, Inc.
209	大腸癌肝転移(H2,H3)に対するmodified FOLFOX6+BV(bevacizumab)療	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	財団法人先端医療振興財団
210	Stage II / Stage III結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法	馬場 秀夫	研究部(医)	40,385	委託	財団法人がん集学的治療研究財団
211	慢性炎症における活性酸素シグナル伝達制御の分子基盤	澤 智裕	研究部(医)	3,203,037	委託	独立行政法人科学技術振興機構
212	熊本型早産予防対策事業(産科分野)調査研究	大場 隆	研究部(医)	50,960,000	委託	熊本県
213	「切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのFOLFOXまたは	馬場 秀夫	研究部(医)	1,953,000	委託	財団法人先端医療振興財団
214	上皮成長因子受容体遺伝子変異(Exon 19 deletionまたはExon 21 point	興梠 博次	研究部(医)	0	委託	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
215	慢性心不全患者に対するadaptive-servo ventilatorに関するランダム化	小川 久雄	研究部(医)	53,846	委託	財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
216	HER2陽性・65歳以上の進行再発胃癌に対するテーエスワン+トラスツ	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
217	脳動脈瘤塞栓術におけるHydrogel coilの塞栓効果に関する施設共同	平井 俊範	研究部(医)	0	委託	財団法人先端医療振興財団

218	KRAS野生型切除可能大腸癌肝転移に対する術後補助化学療法mFOLFOX6と術後化学療法mFOLFOX6+セツキンマブの第Ⅲ相ランダ	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	公益財団法人先端医療振興財団
219	切除不能大腸癌1次治療におけるTS-1, irinotecan, bevacizumab併用療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験(TRICOLOR)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	特定非営利活動法人東京がん化学療法研究会
220	(本体研究)StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびプロタイプGタンパク質介在性受容体インバースアゴニストペプチドの構	馬場 秀夫	研究部(医)	252,000	委託	財団法人がん集学的治療研究財団
221	型:(1)リウマチ患者治療用C5a受容体インバースアゴニストペプチドの調	西浦 弘志	研究部(医)	650,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
222	H5N1新型インフルエンザに対する新規治療抗体の開発	桑原 一彦	研究部(医)	900,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
223	ES細胞由来マクロファージを用いたアルツハイマー病モデルマウスの細胞治療	池田 徳典	研究部(医)	1,010,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
224	視神経保護を目的とした人工再構成リポ蛋白の最適化	林 秀樹	研究部(医)	1,000,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
225	ハイリスク消化管間質腫瘍(GIST)に対する完全切除後の治療に対する研究(研究略称: STAR ReGISTry)	馬場 秀夫	研究部(医)	105,000	委託	公益財団法人先端医療振興財団
226	熊本型早産予防対策事業(産科分野)に係る調査研究	大場 隆	研究部(医)	49,847,899	委託	熊本県
227	平成24年度子どもの健康と環境に関する全国調査その2南九州・沖縄ユニットセンター委託業務	遠藤 文夫	研究部(医)	110,611,522	委託	環境省
228	がん微小環境を標的とした革新的治療法の実現(がん発症・進展における慢性炎症病態解明と新規治療法開発)	遠藤 元善	研究部(医)	4,809,091	委託	文部科学省
229	課題番号25-14「高齢者の四角機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化	谷原 秀信	研究部(医)	1,000,000	委託	独立行政法人国立長寿医療研究センター
230	課題番号25-25「Zarit介護負担尺度日本語版(J-ZBI)による介護負担評価:標準化によ	池田 学	研究部(医)	500,000	委託	独立行政法人国立長寿医療研究センター
231	「創薬コンセプトに基づく戦略的デザインの確率」(白血病ゲノムに基づく個別化治療の確立における検体保存管理・遺伝子解析)	麻生 範雄	研究部(医)	1,818,182	委託	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
232	癌性痛時の脳内N-acetyl-aspartyl-glutamate (NAAG), N-acetyl-aspartate (NAA)濃度の推移	山本 達郎	研究部(医)	2,000,000	委託	出水市病院事業
233	地域医療における遠隔画像診断の研究	山下 康行	研究部(医)	1,000,000	委託	出水市病院事業
234	がん研究開発費 23-A特-45「がんナノテクノロジー研究プラン	倉津 純一	研究部(医)	2,000,000	委託	独立行政法人国立がん研究センター
235	胃癌のハーセプチン耐性機序解明に関する研究	馬場 秀夫	研究部(医)	3,000,000	委託	出水市病院事業
236	「難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究(分担研究課題:難治性ニューロパチーの新規治療の開発と評価)」	安東 由喜雄	研究部(医)	900,000	委託	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
237	「中国との連携を基軸とした新興・再興感染症の研究:第二期」(高親和性モノクローナル抗体技術による感染症治療標的の共同解析)	阪口 薫雄	研究部(医)	1,000,000	委託	国立大学法人東京大学医学研究所
238	悪性神経膠腫患者における網膜遺伝子解析に基づく臨床経過の調査	倉津 純一	研究部(医)	3,000,000	委託	出水市病院事業
239	25-A-7 新規免疫療法の臨床応用へ向けた基盤整備に関する研究	千住 覚	研究部(医)	500,000	委託	独立行政法人国立がん研究センター
240	新規C5a受容体アゴニスト・ペプチドの消炎剤への可能性試験	山本 哲郎	研究部(医)	2,310,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
241	循環調節分子の情報伝達機能解明に基づく病態改善のための新規アプローチの開発(分担課題名:循環器疾患における実質細胞間質クロス	尾池 雄一	研究部(医)	1,500,000	委託	独立行政法人国立循環器病研究センター
242	本邦におけるHFrEFの実態に関する多施設共同調査研究(分担課題名:心機能データ解析)	山室 恵	研究部(医)	500,000	委託	独立行政法人国立循環器病研究センター
243	化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期肺扁平上皮癌に対するCBDC+TS-1併用療法後のTS-1維持療法の無作為化第Ⅲ相試験(WJOG7512L)	興相 博次	研究部(医)	161,400	委託	特定非営利活動法人 西日本がん研究機構
244	肺癌術前化学療法としてのGemcitabine+S-1療法(GS療法)の第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験(Prep-02/JSAP-05)	馬場 秀夫	研究部(医)	7,693	委託	特定非営利活動法人 日本臨床研究支援ユニット
245	平成25年度子どもの健康と環境に関する全国調査南九州・沖縄ユニットセンター	加藤 貴彦	研究部(医)	68,720,810	委託	環境省
246	平成25年度子どもの健康と環境に関する全国調査に係るパイロット調査(南九州・沖縄ユニットセンター)	遠藤 文夫	研究部(医)	4,217,882	委託	独立行政法人国立環境研究所
247	平成25年度水俣病診療拠点設置・ネットワーク構築事業委託	安東 由喜雄	研究部(医)	20,000,000	委託	熊本県
248	局所進行直腸癌に対するTS-1/CPT-11併用術前化学放射線療法の臨床第Ⅱ相試験(SAMRAI-2 TRIAL)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	特定非営利活動法人 東京がん化学療法研究会
249	地域医療における遠隔放射線治療計画支援の研究	大屋 夏生	研究部(医)	1,000,000	委託	出水市病院事業
250	組織修復及び免疫応答に基づく恒常性維持機構の変容による生活習慣病の病態解明	尾池 雄一	研究部(医)	15,000,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
251	抗EGFR抗体薬バニツムマブ投与歴のあるKRAS遺伝子野生型の切除不能進行・再発大腸癌に対する3次治療におけるバニツムマブ再投与の水俣病の臨床像の変化(水俣病患者の長期の病歴を持つ臨床像の変化に関する多角的検討)	馬場 秀夫	研究部(医)	0	委託	特定非営利活動法人 日本がん臨床試験推進機構
252	水俣病脳病変へのマクロファージ浸潤と病変の重症度との関連	安東 由喜雄	研究部(医)	1,500,000	委託	熊本県
253	水俣病脳病変へのマクロファージ浸潤と病変の重症度との関連	竹屋 元裕	研究部(医)	1,500,000	委託	熊本県
254	慢性冠動脈疾患患者におけるイコササント酸エチルの二次予防効果の検討 Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy	小川 久雄	研究部(医)	0	委託	一般社団法人生産開発科学研究所
255	頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為化比較試験(CAS-CARE)	伊斐 豊	附属病院	0	委託	財団法人先端医療振興財団
256	HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたペバシズマブとバクシタセルの併用療法の有用性を検討する観察研究(JBCRG-C05)	山本 豊	附属病院	30,768	委託	一般社団法人JBCRG
257	硫酸銅合剤尿毒症物質の肝産生阻害を機序とする腎障害治療薬物の効果検証	齋藤 秀之	附属病院	1,000,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
258	高機能分子デンドリマーを活用した新規マルチターゲット型アミロイドシス治療薬の開発	城野 博史	附属病院	1,010,000	委託	独立行政法人科学技術振興機構
259	IT×医療×ヘルスケアアライアンスによる3次予防を中心とした患者QOL向上プロジェクト	宇信 功市郎	附属病院	1,781,000	委託	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
260	家族性アミロイドポリニューロパチーの根治療法のための高機能分子デンドリマーを活用した新規マルチターゲット型アミロイドシス治療薬の	城野 博史	附属病院	4,800,000	委託	国立大学法人九州大学
261	課題番号25-1「介護施設、一般病院におけるBPSD初期対応の効果検証に関する研	橋本 衛	附属病院	550,000	委託	独立行政法人国立長寿医療研究センター
262	難治性不整脈に対する研究	山部 浩茂	附属病院	769,230	委託	五ヶ瀬町国民健康保険病院
263	尿毒症物質の肝産生阻害を機軸とする高尿酸血症治療薬のシース創出	齋藤 秀之	附属病院	2,307,693	委託	独立行政法人科学技術振興機構
264	虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-4	菅村 公一	附属病院	0	委託	公益財団法人循環器病研究振興財団
265	あさぎり町こころと体の健康づくりに関するアンケート調査	藤瀬 昇	附属病院	199,920	委託	あさぎり町

265件

1,061,250.891

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者の氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	右山 洋平	呼吸器内科	Efficacy of AiiM, an N-acylhomoserine lactonase, against <i>Pseudomonas aeruginosa</i> in a mouse model of acute pneumonia.	Antimicrobial Agents and Chemotherapy
2	河野 和	血液内科	Hypoxia reduces CD138 expression and induces an immature and stem cell-like transcriptional program in myeloma cells.	International Journal of Oncology
3	内村 幸平	腎臓内科	The serine protease prostaticin regulates hepatic insulin sensitivity by modulating TLR4 signalling.	Nature Communications
4	荒木 栄一	代謝・内分泌内科	Long-term safety of linagliptin monotherapy in Japanese patients with type 2 diabetes.	Diabetes, Obesity and Metabolism
5	下田 誠也	代謝・内分泌内科	Efficacy and safety of sitagliptin as add-on therapy on glycemic control and blood glucose fluctuation in Japanese type 2 diabetes subjects ongoing with multiple daily insulin injections therapy.	Endocrine Journal
6	松村 剛	代謝・内分泌内科	Association between circulating leukocyte subtype counts and carotid intima-media thickness in Japanese subjects with type 2 diabetes.	Cardiovascular Diabetology
7	末田 大輔	循環器内科	A novel mechanism for disrupted circadian blood pressure rhythm in a rat model of metabolic syndrome - the critical role of angiotensin II.	Journal of the American Heart Association
8	佐藤 幸治	循環器内科	Coronary Vasomotor Response to Intracoronary Acetylcholine Injection, Clinical Features and Long-term Prognosis in 873 Consecutive Patients With Coronary Spasm: Analysis of a Single Center Study Over 20 Years.	Journal of the American Heart Association
9	片山 哲治	循環器内科	Long-term renal denervation normalizes disrupted blood pressure circadian rhythm and ameliorates cardiovascular injury in a rat model of metabolic syndrome.	Journal of the American Heart Association
10	小川 久雄	循環器内科	A Randomized, Double-Blind Trial to Evaluate the Safety of Apixaban With Antiplatelet Therapy After Acute Coronary Syndrome in Japanese Patients (APPRAISE-J)	Circulation Journal
11	藤末 昂一郎	循環器内科	Effects of Endothelial Dysfunction on Residual Platelet Aggregability after Dual Anti-platelet Therapy with Aspirin and Clopidogrel in Stable Patients with Coronary Artery Disease.	Circulation: Cardiovascular Intervent
12	花岡 洋右	循環器内科	Level of serum antibody against a periodontal pathogen is associated with atherosclerosis and hypertension.	Hypertension Research
13	海北 幸一	循環器内科	[¹⁸ F]-Fluorodeoxyglucose? A New Imaging Modality for Atherosclerotic Plaque Thrombogenicity?	Circulation Journal
14	辻田 賢一	循環器内科	Coronary plaque component in patients with vasospastic angina: a virtual histology intravascular ultrasound study.	International Journal of Cardiology
15	六反田 拓	循環器内科	Decreased left ventricular compliance contributing to diastolic mitral regurgitation in a patient with atrioventricular block.	Journal of Echocardiography
16	辻田 賢一	循環器内科	Naointimal Tissue Component Assessed by Tissue Characterization With 40MHz Intravascular Ultrasound Imaging - Comparison of Drug-Eluting Stents and Bare-Metal Stents -	Catheterization and Cardiovascular Interventions
17	海北 幸一	循環器内科	Impact of CYP2C19 Polymorphism on Platelet Function Tests, and Coagulation and Inflammatory Biomarkers in Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention.	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis
18	泉家 康宏	循環器内科	Growth differentiation factor-15 is a useful prognostic marker in patients with heart failure with preserved ejection fraction.	Canadian Journal of Cardiology
19	花谷 信介	循環器内科	Growth differentiation factor 15 can distinguish between hypertrophic cardiomyopathy and hypertensive hearts.	Heart and Vessels
20	山部 浩茂	循環器内科 (不整脈先端医療寄附講座)	Utility of novel nonfluoroscopic 4D navigation technology for catheter ablation	Heart Rhythm
21	山部 浩茂	循環器内科 (不整脈先端医療寄附講座)	Electrophysiologic Mechanism of Typical Atrial Flutter Termination by Nifekalant: Effect of a Pure IKr-selective Blocking Agent.	PACE : pacing and clinical electrophysiology
22	高潮 征嗣	循環器内科 (循環器臨床研究先端医療寄附講座)	Coronary Microvascular Dysfunction and Diastolic Load Correlate with Cardiac Troponin T Release Measured by a Highly Sensitive Assay in Patients with Nonischemic Heart Failure.	Journal of the American College of Cardiology
23	小島 淳	循環器内科 (心不全先端医療寄附講座)	Temporal trends in hospitalization for acute myocardial infarction between 2004 and 2011 in Kumamoto, Japan	Circulation Journal
24	渡邊 聖樹	神経内科	Manual external carotid artery manipulation for failed device advance through the stent in carotid artery stent placement. A technical note.	Journal of Vascular and Interventional Neurology
25	三隅 洋平	神経内科 (分子神経治療学講座)	Fibroblasts endocytose and degrade transthyretin aggregates in transthyretin-related amyloidosis.	Laboratory Investigation
26	川筋 道雄	心臓血管外科	Clinical evidence versus patients' perception of coronary revascularization	Surgery Today
27	鈴木 実	呼吸器外科	Aberrant methylation of LINE-1, SLIT2, MAL and IGFBP7 in non-small cell lung cancer	Oncology Reports
28	池田 公英	呼吸器外科	Long interspersed nucleotide element 1 hypomethylation is associated with poor prognosis of lung adenocarcinoma	Annals of Thoracic Surgery

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者の氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
29	池田 公英	呼吸器外科	Association of a Genetic Variant of CYP19A1 with Multicentric Development of Lung Adenocarcinomas	Annals of Surgical Oncology
30	澤山浩 石本崇胤	消化器外科	Small molecule agonists of PPAR- γ exert therapeutic effects in esophageal cancer.	Cancer Research
31	新田 英利	消化器外科	Enhancement of human cancer cell motility and invasiveness by anaphylatoxin C5a via aberrantly expressed C5a receptor (CD88).	Clinical Cancer Research
32	岩上 志朗	消化器外科	LINE-1 hypomethylation is associated with a poor prognosis among patients with curatively resected esophageal squamous cell carcinoma.	Annals of Surgery
33	村田 飛鳥	消化器外科	Methylation levels of LINE-1 in primary lesion and matched metastatic lesions of colorectal cancer.	British Journal of Cancer
34	中川 茂樹	消化器外科	Enhancer of zeste homolog 2 (EZH2) promotes progression of cholangiocarcinoma cells by regulating cell cycle and apoptosis.	Annals of Surgical Oncology
35	渡邊 雅之	消化器外科	Prognostic impact of body mass index in patients with squamous cell carcinoma of the esophagus	Annals of Surgical Oncology
36	江藤 弘二郎	消化器外科	The microRNA-21/PTEN pathway regulates the sensitivity of HER2-positive gastric cancer cells to trastuzumab	Annals of Surgical Oncology
37	杉原 栄孝	消化器外科	Identification of miR-30e* Regulation of Bmi1 Expression Mediated by Tumor-Associated Macrophages in Gastrointestinal Cancer	PLOS ONE
38	近本 亮	消化器外科	Effects of the closing speed of stapler jaws on bovine pancreases	Surgical Endoscopy
39	橋本 大輔	消化器外科	Hepatobiliary and Pancreatic: Huge bile duct stones after hepaticojejunostomy	Journal of Gastroenterology and Hepatology
40	坂本 慶太	消化器外科	Hepatobiliary and Pancreatic: Non-cystic intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas	Journal of Gastroenterology and Hepatology
41	中川 茂樹	消化器外科	Epigenetic therapy with the histone methyltransferase EZH2 inhibitor 3-deazaneplanocin A inhibits the growth of cholangiocarcinoma cells	Oncology Reports
42	新田 英利	消化器外科	Adjuvant hepatic arterial infusion chemotherapy after hepatic resection of hepatocellular carcinoma with macroscopic vascular invasion	World Journal of Surgery
43	林 洋光	消化器外科	Large splenic volume may be a useful predictor for partial splenic embolization-induced liver functional improvement in cirrhotic patients.	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences
44	別府 透	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄附講座)	Optimal cut-off value for the number of colorectal liver metastases: a project study for hepatic surgery of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences
45	村田 飛鳥	消化器外科	p53 immunohistochemical expression and patient prognosis in esophageal squamous cell carcinoma	Medical Oncology
46	今井 克憲	消化器外科	Comparison Between Hepatic Resection and Radiofrequency Ablation as First-line Treatment for Solitary Small-sized Hepatocellular Carcinoma	Hepatology Research
47	馬場 祥史	消化器外科	Radiofrequency ablation for pulmonary metastases from esophageal squamous cell carcinoma.	Diseases of the Esophagus
48	坂田 和也	消化器外科	Generation and analysis of serine protease inhibitor Kazal type 3-cre driver mice	Experimental Animals
49	坂本 快郎	消化器外科 (消化器癌集学的治療学寄附講座)	A minute nonfunctioning pancreatic neuroendocrine tumor with lymph node metastasis	International Cancer Conference Journal
50	徳永 竜馬	消化器外科	Tumor Compression-Induced Portal Obstruction and Selective Transarterial Chemoembolization Increase Functional Liver Volume in the Unobstructed Area, Facilitating Successful Resection of a Large HCC	International Journal of Surgery
51	橋本 大輔	消化器外科	End-to-side pancreaticojejunostomy without stitches in the pancreatic stump.	Surgery Today
52	吉田 直矢	消化器外科	Risk factors for pulmonary complications after esophagectomy for esophageal cancer	Surgery Today
53	石河 隆敏	消化器外科	Thoracoscopic local ablation with diaphragmatic incision method for liver surface tumor in the hepatic dome.	Surgical Laparoscopy, Endoscopy & Percutaneous Techniques
54	吉田 直矢	消化器外科	Estimation of Physiologic Ability and Surgical Stress (E-PASS) can assess short-term outcome after esophagectomy for esophageal cancer.	Esophagus
55	新田 英利	消化器外科	Prognosis assessment of patients with refractory ascites treated with a peritoneovenous shunt	Hepatogastroenterology
56	橋本 大輔	消化器外科	Prediction of operative morbidity after pancreatic resection.	Hepatogastroenterology

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者の氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
57	渡邊 雅之	消化器外科	Thoracoscopic pericardial drainage for gastric tube ulcer penetrated into the pericardium	Fukuoka Acta Medica
58	馬場 祥史	消化器外科	LINE-1 Hypomethylation, DNA Copy Number Alterations, and CDK6 Amplification in Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Clinical Cancer Research
59	林 洋光	消化器外科	Management of thrombocytopenia due to liver cirrhosis: a review	World Journal of Gastroenterology
60	山本 聡子	乳腺・内分泌外科	A comprehensive analysis of Aurora A; transcript levels are the most reliable in association with proliferation and prognosis in breast cancer.	BMC Cancer
61	山本 聡子	乳腺・内分泌外科	Clinical relevance of Ki67 gene expression analysis using formalin-fixed paraffin-embedded breast cancer specimens.	Breast Cancer.
62	指宿 睦子	乳腺・内分泌外科	Establishment of a standardized gene-expression analysis system using formalin-fixed, paraffin-embedded, breast cancer specimens.	Breast Cancer.
63	岩瀬 弘敬	乳腺・内分泌外科	Ethinylestradiol is beneficial for postmenopausal patients with heavily pre-treated metastatic breast cancer after prior aromatase inhibitor treatment: a prospective study.	British Journal of Cancer
64	山本 豊	乳腺内分泌外科 (乳癌分子標的治療学寄附講座)	Menopausal Status Should Be Taken Into Consideration for Patients With Luminal A Breast Cancer in Terms of the Effect of Differential Biology on Prognosis.	Journal of Clinical Oncology
65	山本 豊	乳腺内分泌外科 (乳癌分子標的治療学寄附講座)	Randomized controlled trial of toremifene 120 mg compared with exemestane 25 mg after prior treatment with a non-steroidal aromatase inhibitor in postmenopausal women with hormone receptor-positive metastatic breast cancer.	BMC Cancer
66	大矢 雄希	小児外科・移植外科	Peritransplant Gastrointestinal Symptoms in Familial Amyloidotic Polyneuropathy.	Experimental and Clinical Trnsplantation
67	大矢 雄希	小児外科・移植外科	Re-evaluation of the indications for liver transplantation in Wilson's disease based on the outcomes of patients referred to a transplant center.	Pediatric Transplantation
68	本田 正樹	小児外科・移植外科	Incidence and risk factors for new-onset diabetes in living-donor liver transplant recipients.	Clinical Transplantation
69	江藤 正俊	泌尿器科	STAT3 polymorphism can predict the response to interferon- α therapy in patients with metastatic renal cell carcinoma.	European Urology
70	矢津田 旬二	泌尿器科	Establishment of HLA-DR4 Transgenic Mice for the Identification of CD4+ T Cell Epitopes of Tumor-Associated Antigens	PLOS ONE
71	伊藤 史子	産科・婦人科	Possible involvement of signal transducer and activator of transcription-3 in cell-cell interactions of peritoneal macrophages and endometrial stromal cells in human endometriosis	Fertility and Sterility
72	本原 剛志	産科・婦人科	Anti-N-Methyl-D-aspartate receptor encephalitis associated with ovarian teratoma: clinical presentation, diagnosis, treatment and surgical management	International Cancer Conference Journal
73	犬童 康弘	小児科	Neurobiology of pain, interoception and emotional response: lessons from nerve growth factor-dependent neurons	European Journal of Neuroscience
74	山部 聡一郎	整形外科	Intracellular accumulation of advanced glycation end products induces apoptosis via endoplasmic reticulum stress in chondrocytes	FEBS Journal
75	上園 圭司	整形外科	Effect of immobilization on rotator cuff reconstruction with acellular dermal matrix grafts in an animal model	Journal of Shoulder and Elbow Surgery
76	砥上 若菜	整形外科	Effects of water-holding capability of the PVF sponge on the adhesion and differentiation of rat bone marrow stem cell culture	Journal of Biomedical Materials Research Part A
77	中村 孝幸	整形外科	Angiopoietin-like protein 2 induced by mechanical stress accelerates degeneration and hypertrophy of the ligamentum flavum in lumbar spinal canal stenosis	PLOS ONE
78	西岡 宏晃	整形外科 (関節再建先端治療学寄附講座)	Detecting ICRS grade I cartilage lesions in anterior cruciate ligament injury using T1 ρ and T2 mapping	European Journal Radiology
79	唐杉 樹	整形外科 (地域専門医療推進学寄附講座)	Lumbar disc degeneration is linked to a carbohydrate sulfotransferase 3 variant	The Journal of Clinical Investigation
80	金丸 央	皮膚科	A case of psoriasis accompanied by arthritis after delivery.	Bioscience trends
81	福島 聡	皮膚科	Clinical evaluation of moisturizers with physiological analysis of stratum corneum TARC and TSLP.	J Cosmetics, Dermatological Sciences and Applications
82	井上 雄二	皮膚科	Dots/ globules on dermoscopy in nail-apparatus melanoma.	International Journal of Dermatology
83	神人 正寿	皮膚科	Geographical flushing of the children's face: A new clinical entity.	Case Reports in Dermatological Medicine
84	金丸 央	皮膚科	Case of neuro-Behcet's disease successfully maintained a remission using infliximab for 2 years.	Journal of Dermatology

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者の氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
85	牧野 雄成	皮膚科	The down-regulation of microRNA let-7a contributes to the excessive expression of type I collagen in systemic and localized scleroderma.	Journal of Immunology
86	青井 淳	皮膚科 (地域医療システム寄附講座)	Angiopoietin-like Protein 2 Accelerates Carcinogenesis by Activating Chronic Inflammation and Oxidative Stress.	Molecular Cancer Research
87	梶原 一亨	皮膚科 (地域専門医療推進学寄附講座)	Pyodermitis vegetans associated with multiple myeloma.	The Journal of Dermatology
88	梶原 一亨	皮膚科 (地域専門医療推進学寄附講座)	Successful treatment of skin fistulas in systemic sclerosis patients with the combination of topical negative pressure therapy and split-thickness skin grafting.	Modern Rheumatology
89	青井 淳	皮膚科 (地域医療システム寄附講座)	Case of paraneoplastic pemphigus with follicular lymphoma treated with rituximab.	Journal of Dermatology
90	梶原 一亨	皮膚科 (地域専門医療推進学寄附講座)	Scleroderma dermal fibroblasts overexpress vascular endothelial growth factor due to autocrine transforming growth factor β signaling.	Modern Rheumatology
91	後藤 章子	眼科	Frequency and risk factors for neovascular glaucoma after vitrectomy in eyes with proliferative diabetic retinopathy	Journal of Glaucoma
92	谷原 秀信	眼科	K-115 Clinical Study Group. Phase 1 clinical trials of a selective Rho kinase inhibitor, K-115	JAMA Ophthalmology
93	岩尾 美奈子	眼科	A prospective comparison between trabeculectomy with mitomycin C and phacotrabeculectomy with mitomycin C	Acta Ophthalmologica
94	笠岡 奈々子	眼科	Oxidative stress response signaling pathways in trabecular meshwork cells and their effects on cell viability	Molecular Vision
95	芳賀 彰	眼科	Risk factors for choroidal detachment after trabeculectomy with mitomycin C	Clinical Ophthalmology
96	谷原 秀信	眼科	Phase 2 randomized clinical study of a Rho kinase inhibitor, K-115, in primary open-angle glaucoma and ocular hypertension	American Journal of Ophthalmology
97	笠岡 奈々子	眼科	Study on prognostic factor in trabeculectomy with mitomycin C having history of previous glaucoma surgery	Japanese Journal of Ophthalmology
98	井上 俊洋	眼科	Elevated levels of multiple biomarkers of Alzheimer's disease in the aqueous humor of eyes with open-angle glaucoma	Investigative Ophthalmology & Visual Science
99	岩尾 圭一郎	眼科	Long-term outcomes and prognostic factors for trabeculectomy with mitomycin C in eyes with uveitic glaucoma: a retrospective cohort study	Journal of Glaucoma
100	高橋 枝里	眼科	Epithelial mesenchymal transition-like phenomenon in trabecular meshwork cells	Experimental Eye Research
101	西本 康兵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The Impact of Nimodipine Administration Combined with Nerve-Muscle Pedicle Implantation on Long-Term Denervated Rat Thyroarytenoid Muscle	The Laryngoscope
102	吉田 遼司	歯科口腔外科	The pathological significance of Notch1 in oral squamous cell carcinoma	Laboratory Investigation
103	尾田 清太郎	画像診断治療科 (画像診断解析学寄附講座)	A Knowledge-based Iterative Model Reconstruction Algorithm: Can Super-Low-Dose Cardiac CT Be Applicable in Clinical Settings?	Academic Radiology
104	尾田 清太郎	画像診断治療科 (画像診断解析学寄附講座)	Comparison of Dynamic Contrast-Enhanced 3T MR and 64-Row Multidetector CT Angiography for the Localization of Spinal Dural Arteriovenous Fistulae	American Journal of Neuroradiology
105	池田 理	画像診断・治療科	Simultaneous coil embolization and angioplasty using a self-expanding nitinol stent to treat pancreaticoduodenal artery aneurysms associated with celiac artery stenosis	Acta Radiologica
106	山村 定弘	画像診断・治療科	Dynamic computed tomography of locally advanced pancreatic cancer: effect of low tube voltage and a hybrid iterative reconstruction algorithm on image quality	Journal of Computer Assisted Tomography
107	幸 秀明	画像診断・治療科	Value of knowledge-based iterative model reconstruction in low-kV 256-slice coronary CT angiography	Journal of Cardiovascular Computed Tomography
108	矢田部 裕介	神経精神科	Efficacy of increasing donepezil in mild to moderate Alzheimer's disease patients who show a diminished response to 5 mg donepezil: a preliminary study.	Psychogeriatrics
109	一美 奈緒子	神経精神科	The relationship between primary progressive aphasia and neurodegenerative dementia.	East Asian Achieves of Psychiatry
110	池田 学	神経精神科	Long-term safety and efficacy of Donepezil in patients with dementia with Lewy Bodies: Results from a 52-week, open-label, multicenter extension study.	Dementia and Geriatric Cognitive Disorders
111	浜崎 禎	脳神経外科	Seizures as a presenting symptom in neurosurgical patients: A retrospective single-institution analysis	Clinical Neurology and Neurosurgery
112	牧野 敬史	脳神経外科	Usefulness of immunohistochemical expression analysis of metabolic-related molecules to differentiate between intracranial neoplastic and non-neoplastic lesions	Brain Tumor Pathology

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者の氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
113	中川 隆志	脳神経外科	Renal Denervation Prevents Stroke and Brain Injury via Attenuation of Oxidative Stress in Hypertensive Rats	Journal of the American Heart Association
114	秀 拓一郎	脳神経外科	New Treatment Strategies to Eradicate Cancer Stem Cells and Niches in Glioblastoma	Neurologia medico-chirurgica
115	山田 和慶	脳神経外科 (機能神経外科先端医療寄附講座)	Long Disease Duration Interferes With Therapeutic Effect of Globus Pallidus Internus Pallidal Stimulation in Primary Cervical Dystonia	Neuromodulation
116	篠島 直樹	脳神経外科 (機能神経外科先端医療寄附講座)	TGF- β mediates homing of bone marrow-derived human mesenchymal stem cells to glioma stem cells	Cancer Research
117	藤本 昌史	麻酔科	In non-obese patients, duration of action of rocuronium is directly correlated with body mass index.	Canadian Journal of Anesthesia
118	大林 光念	中央検査部	Salivary mental stress proteins.	Clinica Chimica Acta
119	大林 光念	中央検査部	Impact of antibodies against amyloidogenic transthyretin (ATTR) on phenotypes of patients with familial amyloidotic polyneuropathy (FAP) ATTR Val30Met/Methionine.	Clinica Chimica Acta
120	大林 光念	中央検査部	Dominant cardiac type of familial amyloidotic polyneuropathy associated with a novel transthyretin variant Thr59Arg.	Muscle Nerve
121	湯村 旭代	中央検査部	Development of the enzymatic assay for whole blood choline using an automated biochemical analysis.	International Journal of Analytical Bio-Science
122	廣瀬 隼	医療情報経営企画部	Predictive value of E-PASS and POSSUM systems for postoperative risk assessment of spinal surgery.	Journal of Neurosurgery: Spine
123	廣瀬 隼	医療情報経営企画部	Articular cartilage lesions increase early cartilage degeneration in knees treated by anterior cruciate ligament reconstruction T1 ρ mapping evaluation and one-year follow-up	The American Journal of Sports Medicine
124	橋口 由美	薬剤部	Role of P-glycoprotein in the efflux of raltegravir from human intestinal cells and CD4+ T-cells as an interaction target for anti-HIV agents.	Biochemical and Biophysical Research Communications
125	齋藤 秀之	薬剤部	Toxicopharmacological perspective of the Nrf2-Keap1 defense system against oxidative stress in kidney diseases.	Biochemical Pharmacology
126	森田 康祐	医療技術部診療放射線技術部門	Comparison of 3D Phase-Sensitive- and 2D Inversion-Recovery Sequences at 3.0 Tesla in Assessing Late Gadolinium Enhancement in Patients with Hypertrophic Cardiomyopathy	Academic Radiology

合計 126件

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者の氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	猿渡 功一	呼吸器内科	経食道的超音波内視鏡下穿刺吸引術によって診断した悪性胸膜中皮腫の1例	日本呼吸器学会誌
2	坂本 安見子	呼吸器内科	抗癌剤血中濃度モニター下の維持透析中の肺癌化学療法—自験例と本邦報告のまとめ—	日本呼吸器学会誌
3	坂本 安見子	呼吸器内科	炎症性筋線維芽細胞性腫瘍および悪性腫瘍との鑑別を要した巨大腫瘍性肺放線菌症の小児発症例	日本呼吸器学会誌
4	山邊 聡	消化器内科	破骨細胞型退形成性膝管癌の1例	日本消化器病学会雑誌
5	平江 麻衣	消化器内科	脳死肝移植登録中にB型急性肝炎を発症した原発性胆汁性肝硬変の1例	肝臓
6	金澤 尚徳	循環器内科	EnSite NavXによりリエントリー回路を同定し得た上大静脈起源心房性頻拍の1例	臨床心臓電気生理
7	森山 周二	心臓血管外科	胸部大動脈ステントグラフト内挿術後の大動脈解離および大動脈食道瘻からステントグラフト感染を合併した1例	日本血管外科学会雑誌
8	藤野 孝介	呼吸器外科	50%ブドウ糖液を使用した胸膜癒着術の有効性	日本呼吸器外科学会
9	後藤 瞳	乳腺内分泌外科	エチニルエストラジオールが奏功した閉経後ER陽性転移乳癌の1例	癌と化学療法
10	元島 崇信	泌尿器科	米国泌尿器科学会「AUA 2013」におけるソラフェニブの新たな知見	診療と新薬
11	和田 孝浩	泌尿器科	腎癌に対する分子標的治療薬の現状と課題	西日本泌尿器科
12	江藤 正俊	泌尿器科	転移性腎細胞癌(mRCC)におけるソラフェニブ治療の検討 ~European Cancer Congress 2013より~	診療と新薬
13	和田 孝浩	泌尿器科	臓器癌とmTOR: 腎癌	医学のあゆみ
14	元島 崇信	泌尿器科	アキシチニブ投与で著明な縮小を得て手術可能となった症例	RCC INSIGHT
15	江藤 正俊	泌尿器科	分子標的薬時代における転移性腎細胞癌治療の新展開-ファーストライン治療の変遷を中心に-	癌の臨床
16	河野 吉昭	泌尿器科	BCG膀胱内注入療法中に右腎門部肉芽腫形成を伴う播種性BCG感染症が疑われた1例	泌尿器外科
17	中尾 純子	産科・婦人科	卵巣原発甲状腺腫性カルチノイドの病理組織学的検討: 重度の便秘を伴う妊娠女性	日本婦人科腫瘍学会雑誌
18	水溜 絵津子	産科・婦人科	熊本県において初めて経験したHIV感染妊娠女性の周産期管理	熊本産科婦人科学会雑誌
19	松尾 勇児	産科・婦人科	脳転移を来した上皮性卵巣がん8症例の臨床病理学的検討	熊本産科婦人科学会雑誌
20	大場 隆	産科・婦人科	歯周病対策は早産を減らすことができるか?	日本口腔感染症学会雑誌
21	落合 和久	整形外科	上腕二頭筋長頭腱病変のない外傷性肩甲下筋損傷の1例	日本関節病学会誌
22	伊 浩信	皮膚科	褥瘡治療の最近の進歩 褥瘡ガイドラインをどう生かすか?	Geriat. Med.(老年医学)
23	神人正寿	皮膚科	【Close Encounters-臨床神経学と臨床免疫学の遭遇と未来】皮膚科医が診る筋炎	BRAIN and NERVE
24	神人正寿	皮膚科	乳児血管腫についての最近の知見	西日本皮膚科
25	讃岐 徹治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	喉頭形成術	喉頭
26	橋本 衛	神経精神科	認知機能変動評価尺度(Cognitive Fluctuation Inventory: CFI)の内容妥当性と評価者間信頼性の検討	Brain and Nerve
27	柏木 宏子	神経精神科	重大な多害行為を行い、医療観察法病棟に入院となった統合失調症患者の認知機能の特徴に関する予備的研究	司法精神医学
28	西 良知	神経精神科 (地域専門医療推進学寄附講座)	アリセプトの臨床的特徴を再考する BPSDの観点から	CLINICIAN
29	田中 紀子	中央検査部	APTT検査における検査試薬による実測値の違い	臨床溶離
30	片淵 達也	病理部	胸腔内播種を認めた皮膚エクリン汗孔癌の1例	日本臨床細胞学会雑誌
31	石原 光浩	病理部	細胞診断の迅速報告を考える. 当院における出張迅速細胞診の現状	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌
32	吉武 淳	麻酔科	抗凝固療法が右下肢痛の緩和に著効した直腸がん術後再発における深部静脈血栓症の1症例	日本ペインクリニック学会誌
33	吉武 淳	麻酔科	仙骨骨巨細胞腫の痛みに対し、フェンタニル経皮吸収型製剤に加え経口オキシドロン徐放製剤の併用が有効であった1症例	麻酔
34	本田 省二	神経内科	スマートフォンを用いた脳卒中遠隔医療態勢の構築 阿蘇モデル	脳卒中
35	政 賢悟	薬剤部	ゲフィチニブの処方実態並びに減量・中止に影響を及ぼす患者因子に関する多施設共同調査	日本病院薬剤師会雑誌
36	中口 裕二	医療技術部診療放射線技術部門	最新80対マルチリーフコリメータの線量特性	日本放射線技術学会雑誌
37	小味 昌憲	医療技術部診療放射線技術部門	学会発表・論文タイトルに使用されるMR関連の略語について	日本放射線技術学会雑誌
38	甲斐 祐大	医療技術部診療放射線技術部門	小線源治療用QA ファントムの作製—使用時点検への応用—	日本放射線技術学会雑誌

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容：申請書類の提出、委員会における審議、審議結果通知、変更の手続、有害事象が発生した場合、臨床研究・医療技術の終了、中止等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容：委員会の設置、任務（利益相反自己申告書による審査）、申告書の提出、審査結果等（倫理委員会、治験審査委員会への審査結果通知、等）、指導等、異議申立て、情報開示など	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年629回

- (注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容：医学研究の倫理総論、「ヘルシンキ宣言」概説、不正行為および利益相反について、「臨床研究に関する倫理指針」について	

- (注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

以下のとおり。 ・ 症例検討会の実施 ・ 指導医の下での修練 ・ 症例ごとの適切な治療法の修得 ・ 研究会、研修会への参加、発表 ・ 各種機材操作のトレーニング ・ 英語抄読会の実施

2 研修の実績

研修医の人数	47.2人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
笠岡 俊志	救急・総合診療部	教授	27年	
満屋 裕明	血液内科	教授	24年	
満屋 裕明	膠原病内科	教授	24年	
向山 政志	腎臓内科	教授	31年	
荒木 栄一	代謝・内分泌内科	教授	31年	
藤井 一彦	呼吸器内科	講師	26年	
庄野 孝	消化器内科	助教	13年	
階子 俊平	消化器内科	特任助教	10年	
石川 智久	神経精神科	助教	18年	
安東 由喜雄	神経内科	教授	32年	
掃本 誠治	循環器内科	准教授(医局長)	26年	
中村 公俊	小児科	准教授	24年	
馬場 秀夫	消化器外科	教授	30年	
岩瀬 弘敬	乳腺・内分泌外科	教授	35年	
鈴木 実	呼吸器外科	教授	25年	
水田 博史	整形外科	教授	35年	
牧野 敬史	脳神経外科	講師	24年	
川筋 道雄	心臓血管外科	教授	39年	
猪股 裕紀洋	小児外科	教授	37年	
猪股 裕紀洋	移植外科	教授	37年	
尹 浩信	皮膚科	教授	25年	
尹 浩信	形成・再建科	教授	25年	
江藤 正俊	泌尿器科	教授	29年	
片渕 秀隆	産科・婦人科	教授	32年	
谷原 秀信	眼科	教授(病院長)	29年	
蓑田 涼生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	准教授	22年	
山下 康行	画像診断・治療科	教授	33年	

大屋 夏生	放射線治療科	教授	26年
山本 達郎	麻酔科	教授	32年
笠岡 俊志	救急外来	教授	27年
三上 芳喜	病理診断科（病理部）	教授	24年
平木 昭光	歯科口腔外科	講師	20年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容<ul style="list-style-type: none">【薬剤部】 薬剤部では、職員研修を目的として、定期的に①「薬剤管理指導検討会」及び②「新薬説明会」を、また、不定期に③「くすりの勉強会」を開催している。【看護部】 看護部では、教育理念・教育方針のもと、毎年院内教育計画を立案し、実施している。【中央検査部】 特定機能病院として高度な臨床検査体制を構築するため、別紙の研修をスタッフ全員に対して行っており、臨床検査の精度保証の向上に努めている。【ME機器センター】 人工呼吸器の基礎と最新モードについてリハビリテーション部と知識を共有し、今後の呼吸器リハビリに活かすことを目的に実施した。・研修の期間・実施回数・参加人員<ul style="list-style-type: none">【薬剤部】 別紙（1）のとおり【看護部】 別紙（2）のとおり【中央検査部】 別紙（3）のとおり【ME機器センター】 別紙（4）のとおり
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 「個人情報保護」、「院内感染対策」、「医療安全管理」等、本院において医療業務に携わる上で、各職員が必ず修得しておくべき基本的かつ重要な事項について周知・徹底させる。・研修の期間・実施回数 平成26年4月1日（火）～4月2日（水）※採用者があり次第随時実施・研修の参加人数 270名
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 谷原 秀信
管理担当者氏名	各診療科長、中央診療施設等の長、医療安全管理部長、医療情報経営企画部長、薬剤部長、看護部長、医療技術部長、栄養管理部長、各ユニット長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事ユニット 各診療科 中央病歴室 電算室	病歴資料等は患者IDをもとに整備し、10年間保管・管理する。 平成22年9月20日以降の診療の諸記録は原則電子化し、電子保存する。
院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務・人事ユニット	
	高度の医療の提供の実績	医事ユニット	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事ユニット	
	高度の医療の研修の実績	総務・人事ユニット	
	閲覧実績	総務・人事ユニット	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事ユニット	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事ユニット 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項保各の号状及び第九の二十	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事ユニット	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事ユニット	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事ユニット	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事ユニット	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事ユニット	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事ユニット	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事ユニット	

	第一項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事ユニット	
			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	医事ユニット	
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事ユニット	
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事ユニット	
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事ユニット	
	各号	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事ユニット	
	及び	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	第九条	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	の	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	二十三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医事ユニット	
	第一項	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター	
に掲げる	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
体制の	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		
確保の				
状況				

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 松田 篤郎	
閲覧担当者氏名	総務・人事ユニット長 砂山 富恵	
閲覧の求めに応じる場所	応接室(管理棟2階)	
閲覧の手続の概要		
病院事務部総務・人事ユニット(総務担当)へ、閲覧の要求を行う。		

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 指針の主な内容： 適切な安全安心で質の高い医療サービスを患者及びその家族に提供するために、医療事故（インシデント、アクシデント等）、医薬品管理及び医療機器管理等を踏まえた医療に係る安全管理を目指す。 また、「人間はエラーを犯す」ということを前提に、従業者一人一人が医療安全管理に対する高い意識を持ち、関係する各部署及び各委員会等が連携を図り、本院における医療安全管理を推進する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 16 回
<p>・ 活動の主な内容： (1) 医療安全管理に係る基本方針に関すること。 (2) 医療安全管理のための具体的措置に関すること。 (3) 医療安全に係る従業者の教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知に関すること。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 9 回
<p>・ 研修の主な内容： 新規採用者（4 月）のオリエンテーションと別に、院外講師を招いての講演会や院内で発生したインシデント報告事例の紹介、原因の分析などを行っている。</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療事故報告の整理と対処についての検討を行い、重大事例に対しては病院長、医療安全管理部長、（ゼネラル）リスクマネージャーが相互に連絡を取り、対処する。過失が考えられる重篤な事例については、医療安全調査専門委員会を設置し、情報公開、対処等について検討を行う。 また、「医療安全管理に関する院内巡視実施要項」を制定し、同要項に基づき、全診療科を巡視し、改善事項を当該診療科宛文書で通知を行い、改善対応方法を医療安全管理部へ提出させ、改善実施結果の確認及び院内ラウンドを実施している。 院内巡視を行い、医療安全対策の実施状況を把握・分析することにより、必要な業務改善の具体的な対策を推進するとともに、職員の意識向上を図り、医療安全の確保を目指している。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 2 名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 6 名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 所属職員： 専任（ 2 ）名 兼任（ 18 ）名 ・ 活動の主な内容： (1) 医療の安全性の向上に係る方策の立案、推進及び検証に関すること。 (2) 医療安全管理に係る教育・研修に関すること。 (3) 医療事故及びインシデントの情報収集、原因の調査・分析に関すること。 (4) 医療事故等への対応に関すること。 (事故等に関し、診療録等の記載内容、発生時の対応状況、原因究明の適切な実施についての確認・指導を含む)</p>	

<ul style="list-style-type: none"> (5) リスクマネージャーとの連絡調整に関すること。 (医療安全に係る連絡調整を含む) (6) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (7) 熊本大学医学部附属病院医療安全管理委員会との連携 (委員会の資料及び議事録の作成・保存、その他庶務を含む) (8) その他医療事故の防止、医療の安全性の向上等に関し必要な事項 	
<p>⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有・無</p>

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 院内感染防止対策に関する基本的な考え方2. 院内感染対策委員会、その他の医療機関の組織に関する基本的事項3. 院内感染防止対策のための従事者に対する研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 院内感染防止対策に関する事項の審議2. 院内感染防止対策研修会の企画・実施3. 感染予防に関する事業の企画・実施4. MRSAの発生状況、耐性菌分離状況についての報告5. 抗MRSA薬適正使用報告6. ICTからの報告	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 職業感染対策2. 手指衛生について	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (<input checked="" type="checkbox"/>有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>院内研修】 「院内における医薬品の取り扱いと薬剤部の紹介」（講師：副薬剤部長、4月2日） 「看護師に必要な薬理作用」（講師：薬剤部長、6月13日） 「①内用薬の分割・粉碎・簡易懸濁に関して ②注射剤を安全に使用するために ③医療用麻薬の取り扱いについて」（講師：①医薬品情報室薬剤師、②注射剤調剤室長、③麻薬室長、10月3日）</p> <p>【病棟別研修】 「ステロイド薬について」（講師：薬剤師、対象：西病棟10階看護師、5月23日） 「①術前・術後血栓予防のための抗凝固薬の使い方 ②経口血糖降下剤の種類と作用機序 ③降圧剤、利尿剤の種類と作用機序」（講師：薬剤師、対象：東病棟10階看護師、6月28日） 「消化器外科におけるがん化学療法」（講師：薬剤師、対象：東病棟4階看護師、7月24日） 「静脈注射を安全に実施するために必要な薬理作用」（講師：薬剤師、対象：ラダーレベルⅠ以上の看護師、7月29日） 「①インスリンについて ②抗血栓薬について ③補液の違い ④高カロリー輸液と末梢からの輸液について ⑤プレドバ・KCLについて」（講師：薬剤師、対象：東病棟7階看護師、7月31日） 「静脈注射を安全に実施する上で看護師に必要な薬理作用」（講師：薬剤師、対象：クリニカルラダーレベルⅡ看護師、11月15日） 「静脈注射を安全に実施するために必要な薬理作用」（講師：薬剤師、対象：新規採用看護師、11月29日） 「静脈注射を安全に実施するために必要な薬理作用」（講師：薬剤師、対象：ラダーレベルⅠ以上の看護師、1月27日） 「肺高血圧症治療薬について」（講師：薬剤師、対象：西病棟10階看護師、2月6日） 「抗菌薬の作用特性や投与法・届出制・許可制等の院内ルール」（講師：薬剤師、対象：感染リンクナース希望看護師、2月17日）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (☑・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理責任者に薬剤部長を任命し、院内に医薬品安全管理専門委員会を設置した。業務手順書は平成19年7月に作成した。平成26年1月には、専門委員会を開催し業務手順書を改訂した（第8版）。改訂は、中央手術部から薬剤部へ返却される筋弛緩薬空バイアル（アンプル）の廃棄方法の一部変更、中央手術部で薬剤師不在時に使用された麻薬の確認方法を追記、薬剤部内各部署作成の業務手順書改訂に伴う関連箇所の変更を行った。また、本院におけるハイリスク薬リストを改定した。</p> <p>病棟・外来等、院内各部署における常備医薬品の管理状況は、担当薬剤師が毎月訪問して確認すると共に、年1回は常備医薬品の全品目を新しいロット製品に入れ替える作業を薬剤部で実施することにより、医薬品の品質管理・安全使用に努めている。手順書に基づく業務の実施についてはチェックリストにより年1回確認している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

医薬品安全管理責任者は、院内各部署における常備医薬品に関する管理状況、内用剤・外用剤・注射剤の調剤時における疑義照会内容および外来化学療法室における疑義照会事例等について、情報の収集・確認に努め、医療安全管理委員会において、その状況等を報告している。院内で発生した薬剤業務関連のインシデント事例について薬剤師への情報共有・周知を図り、再発防止のための注意喚起に努めている。院内各端末からは、病院情報管理システムを用いて、最新（毎月1回更新）の添付文書情報を閲覧可能としており、また、新規採用医薬品については、毎月発行の院内情報誌「熊大病院・医薬品情報」にて概要と注意事項等の情報を発信している。更に、平成25年6月には、注射剤に関する注意喚起資料として「溶解液に注意する注射剤（溶解液早見表）」、「規格・剤形違い医薬品リスト（注射薬）」及び「脂質（イントラリポス輸液）の投与速度」を、また平成25年10月には、内用剤に関する注意喚起資料として「内用薬の分割・粉碎・簡易懸濁に関する適否情報一覧」を、更に平成25年11月には、注射剤に関する注意喚起資料として「静注の適応がない注射剤リスト」及び「類似名称医薬品リスト（注射剤）」を、薬剤部にて各々作成し、各診療科に配付した。

調剤（注射剤調剤を含む）に際しては、質疑応答内容を記録し、処方鑑査、疑義照会および医薬品安全使用に活用している。がん化学療法においては、処方ミス回避し安全性を確保する目的で、注射用抗がん剤に対する処方専用レジメンオーダリングシステムのみでの運用に限定している。注射用抗がん剤の無菌調製は、休日も含め全て薬剤部で実施している。また、治療域の狭い薬物や個体差の大きい薬物等については、薬物血中濃度モニタリング（TDM）による投与設計・管理を推奨し、特に抗MRSA薬についてはTDM実施状況を定期的に調査報告しTDMに基づいた投与を行なうように医師に対し周知徹底を図っている。

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無																																																								
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年43回																																																								
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>平成25年</td> <td>4月</td> <td>医療用ポンプ、人工呼吸器、除細動器の正しい使い方</td> <td>54名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4月</td> <td>搬送用保育器使用時の注意点</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月</td> <td>放射線治療器RALSの安全な使用法（緊急時の対応を含む）</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月</td> <td>人工呼吸器の安全対策、医療ガスの安全性について</td> <td>291名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月</td> <td>除細動器（基礎編）</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7月</td> <td>経皮的心肺補助装置（組立て、充填、操作中の注意点など）</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月</td> <td>血液浄化装置（血液浄化療法の注意と副作用）</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月</td> <td>人工呼吸管理中のポイントと病院電気設備など</td> <td>210名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11月</td> <td>閉鎖式保育器の構造と基礎</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11月</td> <td>輸液ポンプ・シリンジポンプ</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月</td> <td>除細動器の操作法</td> <td>37名</td> </tr> <tr> <td>平成26年</td> <td>1月</td> <td>放射線治療器RALSの安全な使用法（実地研修）</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1月</td> <td>ナースのための人工心肺入門（講演と実技）</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月</td> <td>血液浄化装置（CHDF）</td> <td>11名</td> </tr> </table> <p>導入時研修 16回 医療機器が新規に導入された際、その使用法などについての研修 病棟研修 13回 病棟より依頼があった際、病棟もしくはME機器センターで実施</p>		平成25年	4月	医療用ポンプ、人工呼吸器、除細動器の正しい使い方	54名		4月	搬送用保育器使用時の注意点	8名		5月	放射線治療器RALSの安全な使用法（緊急時の対応を含む）	5名		5月	人工呼吸器の安全対策、医療ガスの安全性について	291名		6月	除細動器（基礎編）	42名		7月	経皮的心肺補助装置（組立て、充填、操作中の注意点など）	16名		9月	血液浄化装置（血液浄化療法の注意と副作用）	14名		10月	人工呼吸管理中のポイントと病院電気設備など	210名		11月	閉鎖式保育器の構造と基礎	21名		11月	輸液ポンプ・シリンジポンプ	17名		12月	除細動器の操作法	37名	平成26年	1月	放射線治療器RALSの安全な使用法（実地研修）	5名		1月	ナースのための人工心肺入門（講演と実技）	33名		3月	血液浄化装置（CHDF）	11名
平成25年	4月	医療用ポンプ、人工呼吸器、除細動器の正しい使い方	54名																																																						
	4月	搬送用保育器使用時の注意点	8名																																																						
	5月	放射線治療器RALSの安全な使用法（緊急時の対応を含む）	5名																																																						
	5月	人工呼吸器の安全対策、医療ガスの安全性について	291名																																																						
	6月	除細動器（基礎編）	42名																																																						
	7月	経皮的心肺補助装置（組立て、充填、操作中の注意点など）	16名																																																						
	9月	血液浄化装置（血液浄化療法の注意と副作用）	14名																																																						
	10月	人工呼吸管理中のポイントと病院電気設備など	210名																																																						
	11月	閉鎖式保育器の構造と基礎	21名																																																						
	11月	輸液ポンプ・シリンジポンプ	17名																																																						
	12月	除細動器の操作法	37名																																																						
平成26年	1月	放射線治療器RALSの安全な使用法（実地研修）	5名																																																						
	1月	ナースのための人工心肺入門（講演と実技）	33名																																																						
	3月	血液浄化装置（CHDF）	11名																																																						
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																																									
<p>・ 計画の策定 (☑・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容： 医療機器保守・点検業務手順書に則り、人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、直線加速器、RALS、輸液ポンプ、シリンジポンプ、小型シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、低圧持続吸引器、空気除菌・脱臭装置、AED、麻酔器は、保守点検に関する計画を策定し、ME機器センターもしくは製造販売業者が保守点検を実施している。保守点検後は、月毎の保守点検実施状況として、医療機器安全管理責任者に報告し、最終的には病院長が委員長となっている医療安全管理委員会に提出している。 上記の医療機器は、始業・終業時点検、使用中点検についても医療機器保守・点検業務手順書に則り実施している。その他、医療機器点検フロー図、医療機器不具合時の対応法についても院内ネットワーク上で誰でも閲覧できる状態である。</p>																																																									
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																																																									
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全情報で医療機器の不具合に関する事例が報告された際、聞きなれない言葉がでた際には、詳細を記したME機器センターニュースを発行し、病棟等に配布している。また、ME機器センター職員がPMDAのメールを全員入手できるようにしている。 医療機器の取り扱い等を記載した添付文書はME機器センターで管理すると共に、院内ネットワーク上に掲載し、自由に閲覧できるようになっている。 院外の講演会、講習会へも当センター職員が積極的に参加し、技術の習得に努めている。</p>																																																									

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	① 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 ○病院機能評価 日本医療機能評価機構 平成21年6月5日承認 Ver5.0	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	① 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 熊本大学医学部附属病院ホームページ、熊大病院ニュース（年3回発行）、熊大病院概要（毎年度発行）、等を活用し、本院の役割に関する情報を発信している。 また、昨年度から、熊本県内外の医療機関との交流を図るため、熊本大学医学部附属病院連携病院長懇談会を設置した。本会において、各医療機関と意見交換を密にすることにより、種々の情報の発信・受領を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	① 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 当該科からのコンサルテーションシートに基づき、他科の診療科が必要に応じて診療・治療 ・検査等を連携して行う。	